

講義編

「“まち” にアートが効く」と言われ始めて久しく、今や、全国各地でアートによるまちづくりの実践的な取組が行われています。広島県でも、平成18年10月に、広島県文化芸術振興のまちづくり推進条例を公布しました。果たして、アートは“まち” にどのような効果をもたらすのか？ 数々のアートプロジェクトを手がけ、「“まち” にアートが効く」を実証する北川フラム氏、柳幸典氏を講師に招き、アートによるまちづくりの可能性や、その成功の秘訣を探ります。

- 日時： 平成20年6月6日（金） 13:00～17:15
- 会場： 広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟6階マルチメディアスタジオ
(〒730-0036 広島市中区袋町6-36)
- 定員： 50名 ■ 受講料： 無料
- 講師

北川 フラム 氏

今や世界的なアートの祭典となった「越後妻有アートトリエンナーレ」の総合ディレクター。新潟県妻有地域を舞台に、世界中からアーティストを招聘し、地元と全国のボランティア等との協働により、美術展、音楽・ダンス・演劇等のイベントを開催。そのほか、アートとまちづくりの実践多数。活動の拠点である代官山ヒルサイドテラスは、その都市文化への発信に対する貢献で98年度メセナ大賞を受賞。女子美術大学教授、地中美術館総合ディレクター、アートフロントギャラリー主宰。

柳 幸典 氏

2008年春公開される犬島アートプロジェクトを始め、産業遺跡をアートによって再生させようとするプロジェクトに取り組む。広島では、2007年より、旧ゴミ焼却施設を舞台に「旧中工場アートプロジェクト」を展開。広島市立大学芸術学部准教授、第45回ヴェニス・ビエンナーレ、アペルト部門で受賞。他、国際展に多数招待される。

プログラム

内 容	講 師
<p>■ 講義「アートの力 ～アートでまちは生き返る?～」</p> <p>アートによって生まれる新しい価値 アートが紡ぐ人の輪、賑い アートは地域発展の活力源</p> <p>■ 広島県内の事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧中工場アートプロジェクト(大学の立場から) ・みなとオアシス尾道(NPOの立場から) ・白市DNA(行政の立場から) 	<p>広島市立大学芸術学部准教授 「旧中工場アートプロジェクト」総合ディレクター 柳 幸典 氏</p> <p>NPO 法人尾道てごう座 理事長 田島 美鈴 氏 (財)東広島市教育文化振興事業団 吉野 健志 氏</p>
<p>■ 「“まち” にアートが効く」 先進事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越後妻有アートトリエンナーレ ・ファーレ立川 (又は大阪・アートカレイドスコープ2007) <p>■ ディスカッション</p> <p>アートによるまちづくり (地域の活性化)、その鍵を握るものは? 行政・文化施設等職員の役割は? ※ 広島県内での取組の課題等について、講師への質疑や、参加者も含めたディスカッションを行います。</p>	<p>女子美術大学美術学部教授 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」総合ディレクター 「ファーレ立川」アートプランナー 北川 フラム 氏</p>

講 義 編

参加申込書

所属 _____

職名 _____

氏名 _____

連絡先住所 _____

TEL _____

※お願い

- ・ 5月16日（金）までに下記へお申し込みください。

〒730-0051

広島市中区大手町 1-5-3 広島県民文化センター内

財団法人ひろしま文化振興財団 担当：北上

TEL 0 8 2 - 2 4 9 - 8 3 8 5 FAX 0 8 2 - 2 4 9 - 7 5 3 1

E メール：bunka8@h-bunka.or.jp

- ・ 参加者が複数の場合は、おそれいりますが、この用紙をコピーしてお使いください。